

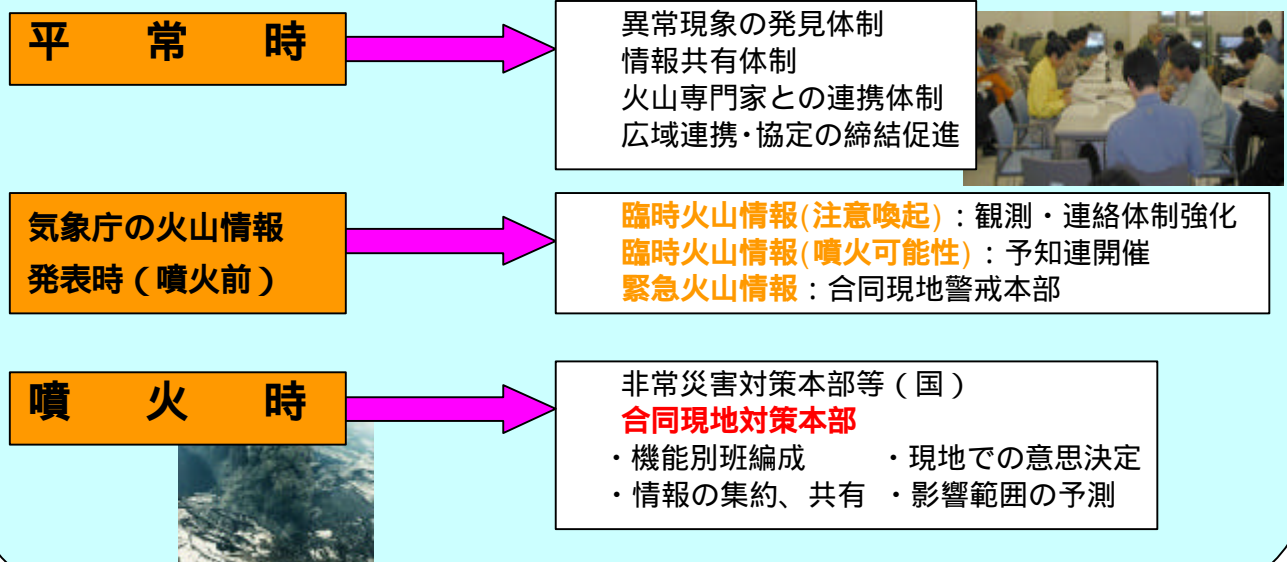
# 富士山火山広域防災対策基本方針（概要）

## 本方針におけるポイント

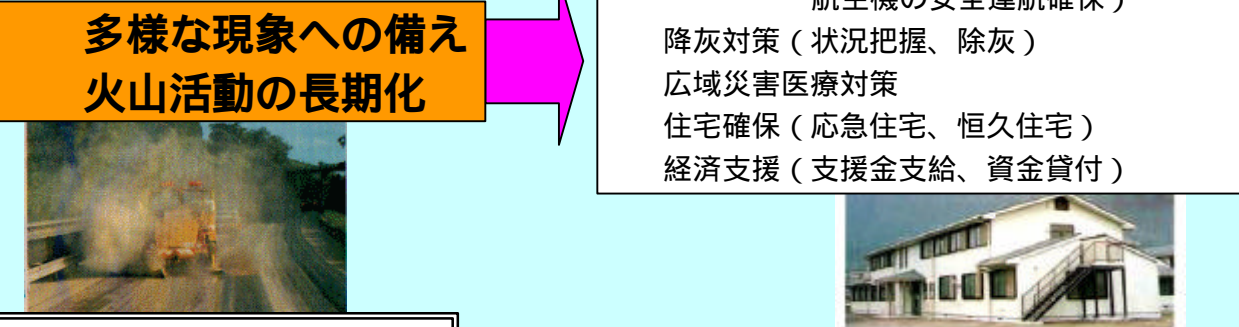
火山情報やハザードマップを基にした避難の実施時期や対象範囲の明確化  
 合同現地対策本部の設置等広域的な防災体制  
 地域産業の支援、観光資源に配慮した防災対策

## 広域防災体制の確立

平成12年の有珠山噴火において、現地対策本部合同会議を設置し、人命被害を回避。



## 応急・復旧対策



## 対策の効果的推進

広域連携による火山防災対策の推進(地域防災計画への反映、広域応援体制の充実)  
 実戦的な防災訓練実施(広域避難の合同訓練等)      全国活火山の火山防災対策への反映

## 広域避難体制の確立

**気象庁の火山情報**      **属性(災害時要援護者・一般住民等)**      **噴火影響範囲(ハザードマップ)**

に応じた      に応じた      を基に

気象庁の火山情報発表時(噴火前)      臨時火山情報(注意喚起)      臨時火山情報(噴火可能性)      緊急火山情報

<避難対策の開始>      <要援護者のいち早い避難>      <広域避難>

対象者	臨時火山情報(注意喚起)			臨時火山情報(噴火可能性)			緊急火山情報		
	一般住民	災害時要援護者	観光客登山者入山者	一般住民	災害時要援護者	観光客登山者入山者	一般住民	災害時要援護者	観光客登山者入山者
噴火前避難範囲									
臨時火山情報時避難範囲(火口分布)									
緊急火山情報時避難範囲(溶岩流3時間)									
災害時要援護者避難範囲(溶岩流24時間)									

凡例)      : 避難準備      : 活動自粛等      : 避難

**噴火時** → 噴火現象に応じた専門家の判断による避難範囲

## 火山との共生

